



Acoustimass[®] 5 series V Acoustimass[®] 3 series V stereo speaker system

規制に関する情報



This symbol means the product must not be discarded as household waste, and should be delivered to an appropriate collection facility for recycling. Proper disposal and recycling helps protect natural resources, human health and the environment. For more information on disposal and recycling of this product, contact your local municipality, disposal service, or the shop where you bought this product.



Bose Corporation hereby declares that this product is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC and all other applicable EU directive requirements. The complete declaration of conformity can be found at: www.Bose.com/compliance.

Names and Contents of Toxic or Hazardous Substances or Elements						
Part Name	Toxic or Hazardous Substances and Elements					
	Lead (Pb)	Mercury (Hg)	Cadmium (Cd)	Hexavalent (CR(VI))	Polybrominated Biphenyl (PBB)	Polybrominated diphenylether (PBDE)
PCBs	X	0	0	0	0	0
Metal parts	X	0	0	0	0	0
Plastic parts	0	0	0	0	0	0
Speakers	X	0	0	0	0	0
Cables	X	0	0	0	0	0
0: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in all of the homogeneous materials for this part is below the limit requirement in SJ/T 11363-2006.						
X: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in at least one of the homogeneous materials used for this part is above the limit requirement in SJ/T 11363-2006.						

控えとして、製品のシリアル番号を下の欄にご記入ください。

シリアル番号はAcoustimass® モジュールの端子パネルにあります。

シリアル番号: _____

モデル番号: _____

購入日: _____

このガイドと共に、ご購入時の領収書と保証書を保管することをおすすめします。

はじめに

Bose® Acoustimass® stereo speaker systemについて	4
システムの特長.....	4
内容物の確認	4

セットアップ

設置のためのガイド	5
システムの設置例.....	5
スピーカーをAcoustimassモジュールに接続する	6
スピーカーを取り付ける.....	6
Acoustimass®モジュールをレシーバーやアンプに接続する	7
レシーバーまたはアンプを電源に接続する前に	7
システムをチェックする.....	7
自動システム保護機能について	7

お手入れについて

故障かな？と思ったら.....	8
レシーバーまたはアンプのスピーカーチャンネルをチェックする.....	8
お手入れについて	8
カスタマーサービス.....	8
保証	8

仕様

互換性について	9
ケーブルに関する推奨事項.....	9

はじめに

Bose® Acoustimass® stereo speaker systemについて

Bose Acoustimass stereo speaker systemは、コンパクトなボディから広がりのあるリアルなサウンドを再生できる、パフォーマンスに優れたスピーカーシステムです。

システムの特長

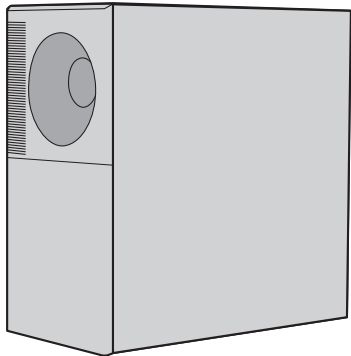
- Bose Acoustimass スピーカーテクノロジーにより、豊かで自然なオーディオパフォーマンスを実現しています。
- ワイヤレス接続で置き場所を選ばないAcoustimassモジュールが豊かな重低音を再生します。
- スピーカーは壁やテーブルスタンド、フロアスタンドにも設置できます(別売キットをご利用ください)。

内容物の確認

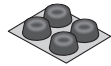
箱の中身を取り出して、下図の付属品がすべて同梱されていることを確認してください。



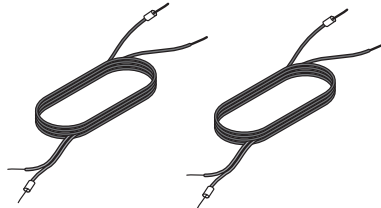
警告: この製品には磁性材料が含まれています。埋め込み型医療機器の動作に影響があるかどうかについては、医師にご相談ください。



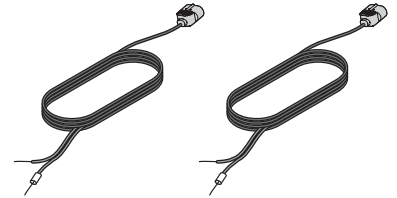
Acoustimass モジュール



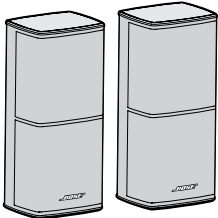
ゴム足



先バラスピーカーケーブル(2本)

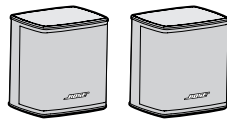


スピーカーケーブル(2本)



Acoustimass 5 system

Direct/Reflecting® series II スピーカー (2本)



Acoustimass 3 system

Virtually Invisible® series II スピーカー (2本)

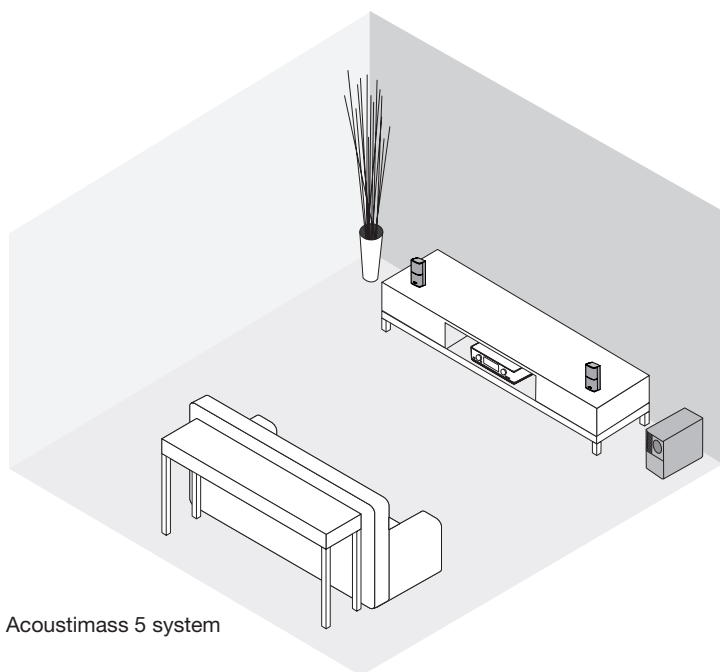
注記: 万一、開梱時に付属品の損傷や欠品などが発見された場合は、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでの使用はお止めください。連絡先については、日本語オーナーズガイドの「お問い合わせ先」をご覧ください。

設置のためのガイド

システムは金属製キャビネットや他のAV機器、熱源などから離れた場所に設置してください。キャビネットの中には置かないでください。

Acoustimass® モジュール	- モジュールにゴム足を取り付けて、部屋の隅から1.5 m以内の壁沿いに置きます。低音を大きくするには、モジュールを部屋の隅に近付けます。 - 安定した水平な面に設置してください。特に大理石やガラス、磨き上げた木などの滑りやすい表面では、音の振動でモジュールの位置がずれることがあります。 - 開口部と壁の間は50 mm以上離してください。 - ブラウン管式テレビをお使いの場合は、磁力によってテレビ画面が乱れないように、テレビから60 cm以上離して設置してください。画面が乱れる場合は、さらに離してみてください。
スピーカー	- スピーカーの間は1 ~ 4.6 mほど離します。 - ブラウン管式テレビをお使いの場合は、スピーカーをテレビから15 cm以上離して設置してください。

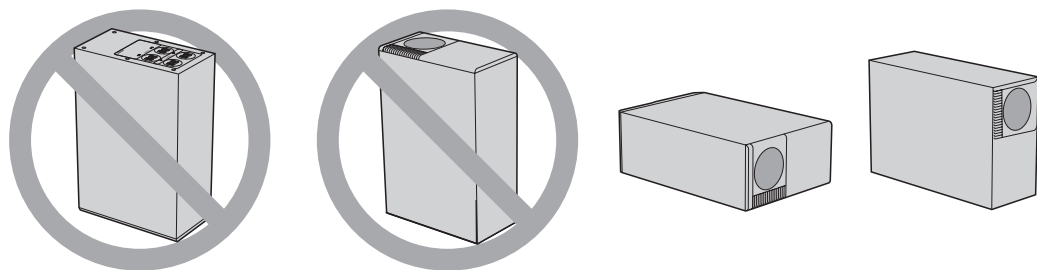
システムの設置例



Acoustimass 5 system

注記: 床を保護するため、Acoustimassモジュールにゴム足を取り付けます。

注意: Acoustimassモジュールの前面や背面を底にした状態で使用しないでください。



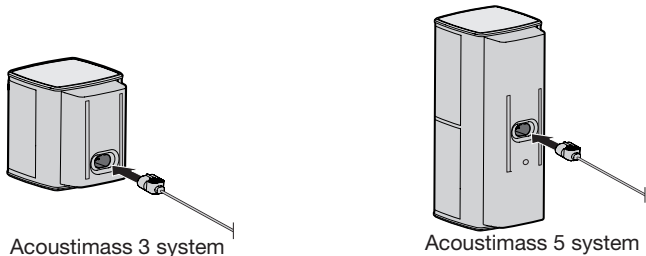
セットアップ

スピーカーをAcoustimass モジュールに接続する

付属のスピーカーケーブル2本を使用して、スピーカーをAcoustimass モジュールに接続します。

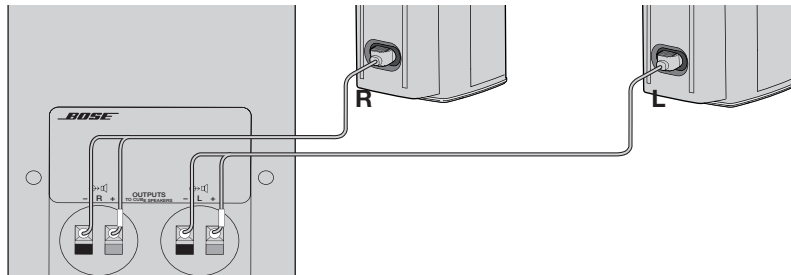
注意: 接続する前に、すべてのコンポーネントの電源をオフにして、電源から抜いてください。

1. 左側スピーカーケーブルの**L**プラグを、ラベルのある面を下にしてL(左)側スピーカーに接続します。
2. 右側スピーカーケーブルの**R**プラグを、ラベルのある面を下にしてR(右)側スピーカーに接続します。



注意: アンプやレシーバーを直接スピーカーに接続しないでください。システムが損傷を受けないようにするには、スピーカーをAcoustimass モジュールに接続します。

3. 左側スピーカーケーブルのもう一方を、Acoustimass モジュールの端子パネルにある**L** (左)側の**OUTPUTS TO CUBE SPEAKERS** 端子に接続します。
 - A. マークのあるケーブルをプラス(+)側の端子(赤のマーキング)に差し込みます。
 - B. マークのないケーブルをマイナス(-)側の端子(黒のマーキング)に差し込みます。
4. 右側スピーカーケーブルに対して手順3を繰り返し、ケーブルを**R** (右)側の端子に接続します。



スピーカーを取り付ける

システムスピーカーは、壁掛けブラケット、フロアスタンド、またはテーブルスタンドにも設置できます。追加のケーブルとBoseコネクターを使用して、スピーカーとAcoustimass モジュールの間の距離を長くすることもできます。これらのアクセサリーにつきましては、お近くのボーズ製品販売店、または弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。なお弊社Webサイトにおきましても、各種アクセサリーをご紹介します。

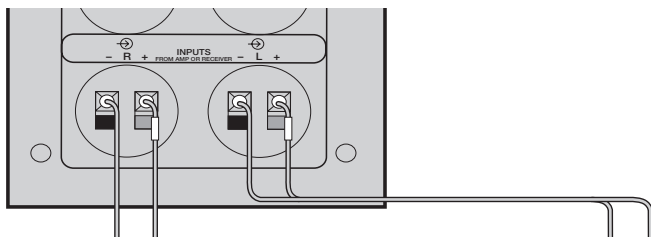
注意: 純正以外のアクセサリーを使用してスピーカーを設置しないでください。

Acoustimass®モジュールをレシーバーやアンプに接続する

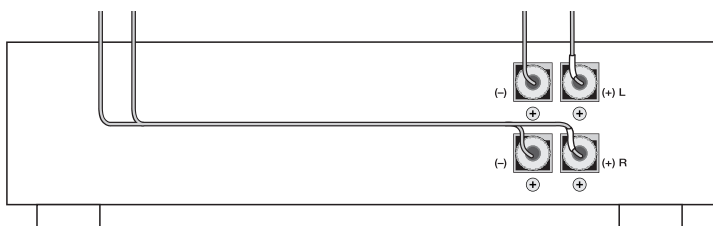
先バラのスピーカーケーブルはAcoustimassモジュールとレシーバーまたはアンプを接続するためのものです。レシーバーやアンプの互換性要件については、「互換性について」(9ページ)をご覧ください。

注意: 誤った方法で配線すると、低音が小さすぎたり、まったく聞こえなかったりすることがあり、場合によってはシステムを破損する可能性があります。

1. スピーカーケーブルをAcoustimassモジュールの背面パネルにある**INPUTS FROM AMP OR RECEIVER**端子に接続します。
 - A. マークのあるケーブルを入力端子の**L** (左)側ペアのプラス(+)側端子に接続します。
 - B. マークのないケーブルを入力端子の**L** (左)側ペアのマイナス(-)側端子に接続します。
 - C. 手順AとBをもう一方のスピーカーケーブルに対して繰り返し、入力端子の**R** (右)側ペアに接続します。



2. ケーブルの反対側をアンプまたはレシーバーのスピーカー端子に接続します。
 - A. モジュールの入力端子の**L** (左)側ペアに接続されているマークのあるケーブルを、アンプまたはレシーバーのLEFT側プラス(+)端子に接続します。
 - B. モジュールの入力端子の**L** (左)側ペアに接続されているマークのないケーブルを、アンプまたはレシーバーのLEFT側マイナス(-)端子に接続します。
 - C. 手順AとBをAcoustimassモジュールの入力端子の**R** (右)側ペアに接続されているケーブルに対して繰り返し、アンプまたはレシーバーのRIGHT側ペアに接続します。



レシーバーまたはアンプを電源に接続する前に:

- スピーカーケーブルのバラ線が他の端子に触れていないことを確認します。ケーブルの先が他の端子に触れていると、回路がショートしてレシーバーやアンプが破損する可能性があります。
- スピーカーが破損しないように、すべての接続をチェックしてください。スピーカーがモジュールに接続されており、直接アンプやレシーバーに接続されていないことを確認します。

システムをチェックする

アンプとAcoustimass®モジュールの電源をオンにすると、システムは次のように反応します。

- アンプのバランスコントロールを左に回すと、音はAcoustimassモジュールとL (左)側スピーカーから聞こえます。
- バランスコントロールを右に回すと、音はAcoustimassモジュールとR (右)側スピーカーから聞こえます。
- バランスコントロールを中央にセットすると、音楽と低音の大きさは、コントロールを左または右に回したときと同じように聞こえるか、または中央の方が大きく聞こえます。

システムがこのように反応しない場合は、すべてのケーブルについて、プラス同士およびマイナス同士が正しく接続されているかどうかチェックします。接続されているのにシステムが正しく反応しない場合は、「故障かな?と思ったら」(8ページ)をご覧ください。

自動システム保護機能について

再生時に音量レベルを上げると、Acoustimassシステムの自動保護回路が作動して、電氣的ストレスや過負荷による損傷からシステムを保護します。この回路が作動すると、音量が少し下がります。これは、入力及安全なレベルを超えたことを示しています。このレベル以上に音量を上げて長時間再生することはお勧めいたしません。

お手入れについて

故障かな？と思ったら

トラブル	対処方法
音が歪む/聞こえない	• アンプまたはレシーバーとシステムの接続を外して、Acoustimass®を正しく動作している別のアンプまたはレシーバーに接続します。これでシステムが正しく動作する場合は、アンプまたはレシーバーに問題があります。 • アンプまたはレシーバーの電源をオフにして、スピーカー、モジュール、アンプまたはレシーバーの間のすべての接続をチェックします。 • トラブルシューティングに関する詳細情報については、アンプまたはレシーバーの取扱説明書をご参照ください。 • 「レシーバーまたはアンプのスピーカーチャンネルをチェックする」をご覧ください。

レシーバーまたはアンプのスピーカーチャンネルをチェックする

片側のスピーカーから音が聞こえない、または音が歪む場合は、アンプまたはレシーバーのスピーカーチャンネルに問題がある可能性があります。

1. アンプまたはレシーバーからスピーカーケーブルを2本とも外します。
2. Acoustimass®モジュールの**L (左)側入力**とアンプまたはレシーバーのR (右)側スピーカー端子をケーブルで再度接続します。
3. アンプまたはレシーバーからスピーカーケーブルを2本とも外します。Acoustimass®モジュールの**L (左)側入力**とアンプまたはレシーバーのR (右)側スピーカー端子をケーブルで再度接続します。
4. アンプまたはレシーバーのバランスコントロールを右にいっぱいまで回してから、電源をオンにします。これでL (左)側スピーカーから正しく音が聞こえる場合は、アンプまたはレシーバーのL (左)側スピーカーチャンネルに問題がある可能性があります。
5. モジュールの**R (右)側入力**とアンプまたはレシーバーのL (左)側スピーカー端子をケーブルで再度接続して、R (右)側スピーカーをチェックします。

注意: 問題がある可能性のあるチャンネルに他のスピーカーを接続しないでください。チャンネルに問題がある場合は、Acoustimassシステムが破損する可能性があります。

お手入れについて

- システムの外装は柔らかい布で拭きしてください。
- システムの近くでスプレーを使用しないでください。溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。
- 開口部に液体が入らないようにしてください。
- スピーカーグリルには掃除機をかけてもかまいません。グリルのすぐ内側にあるスピーカーのドライバーを破損しないようにするため、掃除機は弱いパワーでご使用ください。

カスタマーサービス

トラブル解決のための詳細情報については、ボーズ株式会社カスタマーサービスにお問い合わせください。連絡先については、日本語オーナーズガイドの「お問い合わせ先」をご覧ください。

保証

保証の内容および条件につきましては、付属の保証書をご覧ください。製品のご登録をお願いいたします。

登録は、<http://global.Bose.com/register>から簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

本製品に付属の保証書に記載された内容は、オーストラリアおよびニュージーランドでは適用されません。オーストラリアおよびニュージーランドでの保証の詳細については、弊社Webサイト (www.bose.com.au/warranty または www.bose.co.nz/warranty) をご覧ください。

互換性について

定格については、レシーバーまたはアンプの取扱説明書をご覧ください。

レシーバーやアンプの互換性要件

システム	対応するレシーバーまたはアンプの定格
Acoustimass 3	10 ～ 100W (各チャンネル)、定格インピーダンス4 ～ 8 Ω
Acoustimass 5	10 ～ 200W (各チャンネル)、定格インピーダンス4 ～ 8 Ω

IEC 定格

50W (各チャンネル)

ケーブルに関する推奨事項

周波数特性の最大偏差 ± 0.5 dB を基準としています。

ゲージ	長さ
18 (0.75 mm ²)	最大 9 m (30 フィート)
16 (1.5 mm ²)	最大 14 m (45 フィート)



719704-0010

BOSE[®]
Better sound through research[®]

©2015 Bose Corporation, The Mountain,
Framingham, MA 01701-9168 USA
AM719704 Rev. 01